

各位

20代が抱く投資のイメージを「難しい・面倒」から「簡単・面白い」に転換する！ 「20代から始めるつみたて投資 project(つみプロ)」を開始

この度、三菱UFJ国際投信株式会社は「20代から始めるつみたて投資 project (つみプロ)」を開始致しました。



■本プロジェクトを発足した背景と目的

このプロジェクトは、主に弊社の20代社員が企画し、同世代の20代の個人投資家の皆さまにメッセージを発信しながら、ともに長期資産形成について考えるプロジェクトです。つみたてNISAなどの少額投資非課税制度の口座数増加(*1)やコロナショック後の株価上昇等を受け、20代においても資産形成への関心や投資信託を始める方は徐々に増えています(*2)。

一方で、まだ投資に対するイメージとして「難しい、面倒」と感じている方も多いのではないのでしょうか。そこで、弊社では20代社員ならではの視点から、まだ投資を始めていない20代の方に向けて、資産形成やつみたて投資を始めるきっかけづくりを目指し、SNSやWebを通じた情報発信やオフラインも交えたイベントを開催予定です。

より詳細な内容については、本プロジェクトのメンバーが弊社のオウンドメディア「mattoco Life」(*3)に執筆した記事をご覧ください。

[#1 20代から始めるつみたて投資project\(略称: つみプロ\)って何? \(外部サイトに遷移します\)](#)

*1: (出所) 金融庁 NISA・ジュニアNISA利用状況調査

*2: (出所) 一般社団法人投資信託協会「投資信託に関するアンケート調査報告書-2020年(令和2年)投資信託全般

*3: オウンドメディア「mattoco Life」(<https://life.mattoco.jp/>)(外部サイトに遷移します)

お金をはじめとして、なかなか周りには聞きづらいことや気になることをリサーチして、充実したライフを送るためのヒントを発信しています。

■本プロジェクトで伝えたいメッセージ:「20代は忙しい。だからこそ、投資は手間を抜き、コツコツ継続」

20代という年代は、学生～社会人～結婚と数々のライフイベントが想定され、環境が大きく変化する方も多く、多忙な時期だと思います。そんな中で、将来に向けた資産形成に関して考えることを億劫だと感じている20代の方に向けて、“実は、ズボラに投資ができる方法がある！”といった趣旨で「#ズボラ戦略#コツコツ#なりたい自分になろう」といったキーワードを中心にSNSやWEB上で情報発信しつつ、座談会などの場を設けることで、資産形成について一緒に考える機会をご提供したいと考えています。そういう機会に触れることで、一人では実行に移すことが難儀である資産形成の一步を踏み出せるようにサポートしていけたらと思います。

■本プロジェクトの第一弾として、20代に実施したアンケート調査結果を公表

全国の20歳～29歳までの男女を対象に、投資に対する考え方についてアンケート調査を実施しました(有効回答数4120名、2021年10月1日～4日、Macromill社を活用したインターネット調査)。有効回答数のうち、金融商品保有層(2,060名)と金融商品未保有層(2,060名)という内訳です。アンケート結果の概要は以下の通りです。(*4)

(*4)下記の結果に関しては、小数点以下の関係で、合計が100%にならない場合がございます。そのため、表面上の足し算の数字と異なる数字になっていることもありますので、ご了承ください。

- ① 金融商品の保有有無に関わらず、約8割の方が将来の「お金の不安」を感じている。特に女性は男性よりも強く感じている傾向が見られた。

【図表1】「将来へのお金の不安はありますか？(単一回答)」

	全体	とても不安を感じている+不安を感じている	とても不安を感じている	不安を感じている	どちらともいえない	不安を感じていない	全く不安を感じていない
	N=4120	3286	1678	1608	551	210	73
金融商品保有(男性)	N=1030	74%	35%	39%	15%	9%	2%
金融商品保有(女性)	N=1030	84%	40%	45%	10%	5%	1%
金融商品保有なし(男性)	N=1030	75%	36%	38%	19%	4%	2%
金融商品保有なし(女性)	N=1030	86%	52%	34%	10%	3%	1%

- ② 「投資をしていない」理由は「家計に余裕がないから」ではない

毎月1～3万円を預貯金に回す世帯年収／個人年収600万円未満の層を分析すると「毎月1～3万円を預貯金に回しながら投資もしている層」が一定数存在する。

【図表2】月額1万円～3万円貯金している層の世帯年収・個人年収別の金融商品保有割合

世帯年収	400万未満	400～600万未満	600～800万未満	個人年収	400万未満	400～600万未満	600～800万未満
	N=375	N=240	N=130		N=802	N=163	N=6
金融商品保有(N=594)	49%	53%	68%	金融商品保有(N=594)	50%	64%	83%
金融商品保有なし(N=611)	51%	48%	32%	金融商品保有なし(N=611)	50%	36%	17%

- ③ まだ投資に踏み切れていない層は、投資をする手間が煩雑であると思っていることが、一部ハードルになっている

すでに投資をしている層でも約5割の方が「投資は手間がかかる」と感じており、まだ投資をしていない層に関しては、約7割～8割の方が「手間がかかる」という結果が得られた。

【図表3】「投資」は手間のかかるものだと思いますか？(実際に投資をしている方は、投資開始前に想定したよりも手間が増えたかご回答ください)

		全体	とてもそう思う+そう思う	とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	そう思わない	全く思わない
		4120	2453	817	1636	858	617	192
特徴	金融商品保有(男性)	N=1030	48%	16%	32%	20%	24%	8%
	金融商品保有(女性)	N=1030	48%	14%	34%	20%	28%	5%
	金融商品保有なし(男性)	N=1030	65%	22%	43%	26%	5%	4%
	金融商品保有なし(女性)	N=1030	78%	28%	50%	18%	3%	2%

④ 投資のきっかけや理由で多いのは、ライフイベントの次が「なんとなく・機会があったから」。

【図表4】投資を始めたきっかけは何ですか？最も当てはまるものをお選びください。(単一回答、金融商品保有 N=2060)

項番	全体	%
1	ライフイベント(就職・結婚・出産等)によりお金のことを考えるきっかけがあったから	30.1
2	なんとなく	21.8
3	勉強する機会があり、興味をもったから	20.5
4	家族・親戚・友人に勧められたから	15.5
5	周囲で投資を始める人が増えたというニュースを耳にしたから(例えば、コロナショック(2020年2月頃)等)	10.0
6	その他	2.0

その他の調査結果の詳細は、弊社のオウンドメディア「mattoco Life」にて公開しています。

[#2 Z世代にとっての「貯金と投資」の本音とは？](#)(外部サイトに遷移します)

■今後の活動について

今後は、上記のアンケート結果を題材にした20代の皆さまとの座談会や、メッセージ動画の作成などを予定しています。加えて弊社のオウンドメディア「mattoco Life」(*3)にて、プロジェクトメンバーが執筆したコラム連載も予定しています。これらに限らず、今後も継続的に同年代である20代の方々が少しでも投資を始めるきっかけになるような情報発信を含め、イベントを企画してまいります！

また、すでに作成したコンテンツが以下となっています！是非ご覧ください！

[【S&P500 指数で！】20代・運用会社社員と考えるズボラ戦略](#)(外部サイトに遷移します)



■同業種・異業種問わずコラボできる方を大募集

このプロジェクトでは、弊社20代社員と20代の皆さまとのコミュニケーションのみならず、同業種・異業種の企業様等とコラボすることで、より多くの20代にとって興味関心の環を拡げたいと考えております。(*5)

実際に、同業種のみならず異業種の企業様とのコラボもチーム内で検討しております。是非、ご興味ございましたら弊社までお問合せください。(*6)

(*5)下記の注意事項をお読み頂きまして、是非ご連絡頂けますようよろしくお願い致します。

・本募集に関しては事前の予告なく変更、または終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

・以下のいずれかに該当する場合、応募者資格を無効とする場合があります。

—暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者(以下、「反社会的勢力」といいます。)

—法令に違反する行為/本企画の運営を妨げる行為/その他三菱UFJ国際投信において、悪質または不適切であると判断した行為、を行った場合

・応募者資格や注意事項等に違反する場合には、応募条件を満たさない可能性があります。その場合、無効について弊社側から通知するようなことは致しません。

・三菱UFJ国際投信は、本募集に関連するあらゆるWEBサイトに掲載される情報の正確性、合法性、道徳性、最新性、適切性等について保証しません。

(* 6)本件のお問い合わせ先について

下記の宛先にご連絡ください。

20-PJ@am.mufg.jp

担当者 中川・鈴木・磯崎

【弊社SNSのご紹介】

■Instagram 公式アカウント(三菱UFJ国際投信):https://www.instagram.com/am_mufg.jp



※Instagram サービスは、Facebook, Inc.が提供する Facebook 製品のの一つです。

■Facebook (あつあつ経済調査部):<https://m.facebook.com/keicho.mukam>

■Twitter(三菱UFJ国際投信):https://twitter.com/am_mufg_jp

■YouTube (三菱UFJ国際投信 ON AIR):<https://www.am.mufg.jp/lp/mon/>



■LINE (eMAXIS LINE) :<https://liny.link/r/1653768800-JYrZrY2x?lp=8UAerk>



以上